

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-68059

(43) 公開日 平成7年(1995)3月14日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 3 H 33/16	Z			
B 6 5 H 45/00		9245-3F		

審査請求 未請求 請求項の数4 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平4-119521

(22) 出願日 平成4年(1992)3月30日

(71) 出願人 592101677

本間 隆雄

東京都小金井市桜町1丁目6番11号

(71) 出願人 592101688

境 祐司

東京都杉並区和田3丁目29番4号 木村方

(72) 発明者 本間 隆雄

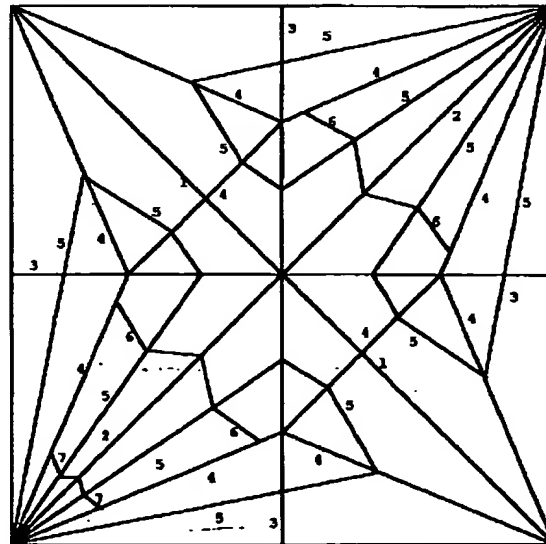
東京都小金井市桜町1丁目6番11号

(54) 【発明の名称】 折り紙の折り目フォームを出力し、折り方を容易にする方法

(57) 【要約】

〔目的〕 本発明は折り紙の折り目フォームを出力し、折り紙の折り方の容易性と簡便化及び応用領域の拡張性を実現するものである。

〔構成〕 本発明は主としてコンピュータのハードウェア装置及びソフトウェア装置のシステムを用いて折り紙の折り目フォームを自由自在に容易化し、折り紙の折り方の習得方法及作成方法の容易化と簡便化並びにその応用領域の拡張性にある。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 折り紙の折り目フォームを出力することを特徴とする折り紙の折り方を容易にする方法。

【請求項2】 折り目フォームに折り順等を示す数字又は記号を出力することを特徴とする特許請求の範囲請求項1に記載の折り紙の折り方を容易にする方法。

【請求項3】 折り目フォームに折り上がり時の紋様を出力することを特徴とする特許請求の範囲請求項1及び請求項2に記載の折り紙の折り方を容易にする方法。

【請求項4】 コンピュータのハードウェア装置及びソフトウェア装置からなるシステムを用いて出力する特許請求の範囲請求項1、2及び3に記載の折り紙の折り方を容易にする方法。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】 本発明は主としてコンピュータのハードウェア装置及びソフトウェア装置を用いて折り紙の折り目フォームを出力して折り方の順序を数字又は記号等で表示及び折り上が紋様等を表示して折り方の容易性の実現方法及びその折り方の応用方法並びに利用方法の改善に関するものである。

[0002]

【従来の技術】 従来の折り紙の作成の習得方法は折り紙の折り方の順序を書籍や雑誌等の印刷物によって示し、折り方を習得して折っていく方法か、若しくは習得し終え、経験を積み重ねた親等から口承で伝えられ学んでいく方法の印刷物と人に依存した習得方法であり、作成方法もこれに依存している。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】 従来の折り紙の習得方法と作成方法において基本的に相違する点は、本発明では主としてコンピュータ・システムを活用することにより、折り紙の折り方を独自で容易に習得、作成するための折り紙の必要な枚数、サイズ、好みの紋様などをコンピュータのディスプレイ装置及び印刷装置上の紙等に出力し、ディスプレイ画面に表示される折り方の案内を補助としながら折り方の容易性と応用領域の拡大を可能とするものである。

[0004]

【課題を解決しようする手段】 本発明は上記の目的を達成するために、主としてコンピュータのハードウェアシステムを構成するセントラル・プロセッシング・ユニット、キーボード、マウス等のポインティング・デバイス、ディスプレイ、プリンター、スキャナー、映像装置、音響装置等とその周辺装置及びそれらを可動ならしめるコンピュータのソフトウェア・システム装置のプロ

グラムを通じて実現させる。

[0005]

【作用】 上記の目的を達成するコンピュータ・システムのハードウェア・システム装置及びソフトウェア・システム装置の手段を用いて稼働することによりディスプレイ画面の折り方の案内を補助としながら折り紙の折り目を図示した折り目に必要に応じて数字又は記号等の出力により折り順を表示することによって折り方の容易性の実現及び独自習得の簡便化の実現、又異なるサイズと紋様の折り目フォームの出力によって折り上がり時の作品のサイズと紋様の変幻自在化が図られる。更に必要な枚数の折り目フォームを出力することにより、繰返し、あるいは多人数で同時に習得することを可能とするものである。

[0006]

【実施例】 図1はコンピュータ・システムから出力された折り紙の折り目フォームである。この折り目フォームは、折り紙の中で代表的と言われている鶴をこの折り目フォームに表示されているシリアル番号の順序に従い折り進むことにより、折り紙による鶴の作品を実現できる。図2はグレーに表示されている部分が鶴の折り上がり時での表の部分を表すものであり、白色の部分は、鶴の折り上がり時での裏の部分を表すグレー1色の単純な紋様の折り目フォームの一例である。

【0007】 図3は、折り上がり時に鶴のイメージとなる紋様の折り目フォームの一例で図4はこれによって作成された鶴の作品である。

[0008]

【発明の効果】 上述のように、本発明は従来の折り紙の習得と作成方法である印刷物による手本と人に依存する方法から脱却する方法として、コンピュータ・システムの出力を利用することによって折り紙の習得と作成方法の容易化と簡便化及びその応用領域の拡張性にある。本発明を活用することにより、創造力の発展性を含む産業や文化への波及効果を期待できる。

【図面の簡単な説明】

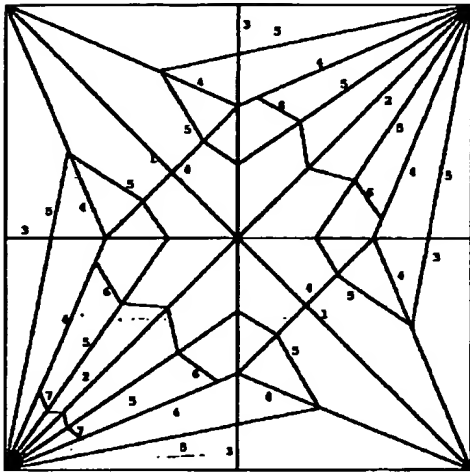
【図1】 本発明の折り紙の折り目フォームを示す平面図である（実施例の鶴である）。

【図2】 本発明の折り上がり時の表面をグレーとする紋様の折り紙の折り目フォームである（実施例の鶴である）。

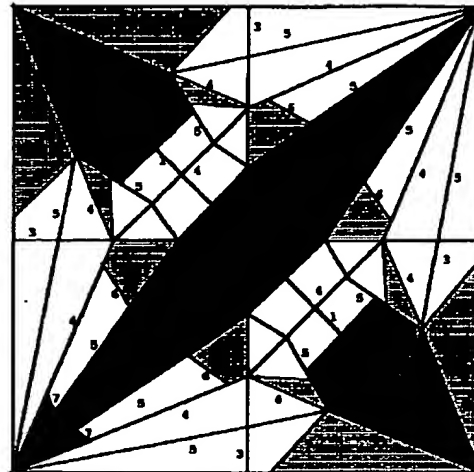
【図3】 本発明の折り上がり時に鶴のイメージとなる紋様の折り目フォームの平面図である。

【図4】 本発明の図3の折り目フォームにより作成された紋様のある作品の立体図である（実施例の鶴である）。

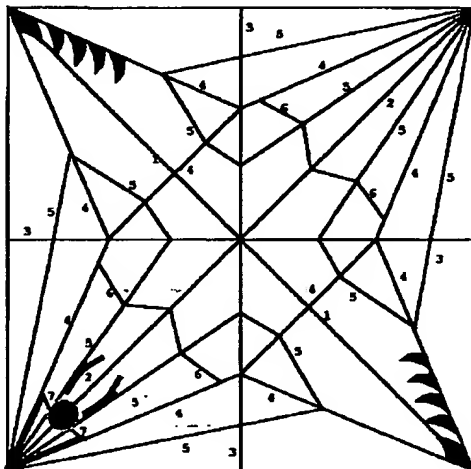
【図1】



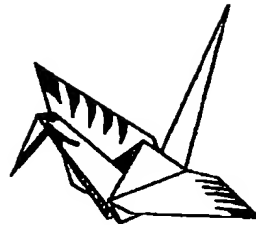
【図2】



【図3】



【図4】



【手続補正書】

【提出日】平成4年6月29日

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 折り紙の利用者が随時折り紙の折り目フォームを出力することを特徴とする折り紙の折り方を容易にする方法。

【請求項2】 折り目フォームに折り順等を示す数字又は記号を出力することを特徴とする特許請求の範囲請求項1の記載の折り紙の折り方を容易にする方法。

【請求項3】 折り目フォームに折り上がり時の紋様を出力することを特徴とする特許請求の範囲請求項2に記載の折り紙の折り方を容易にする方法。

【請求項4】 コンピュータのハードウェア装置及びソフトウェア装置からなるシステムを用いて出力する特許請求の範囲請求項1、2及び3に記載の折り紙の折り方を容易にする方法。